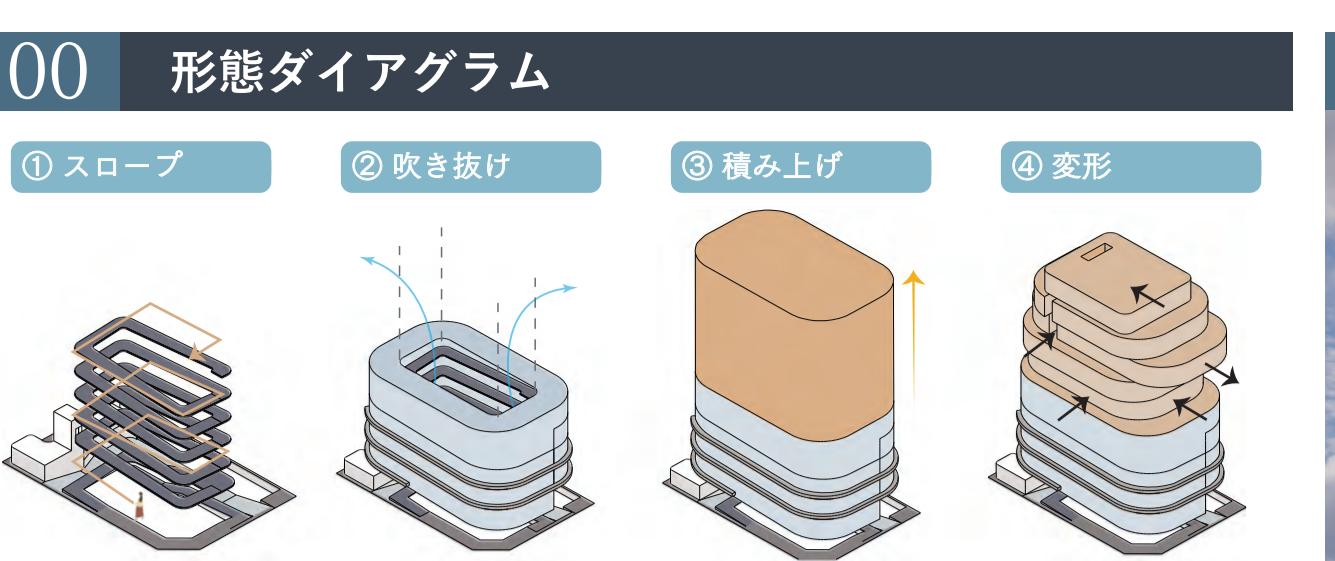


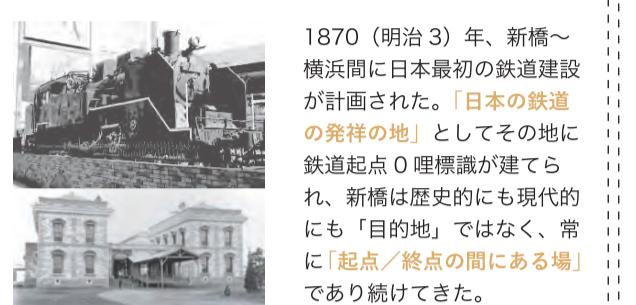
# SHIM-BASHI CITY TRANSIT

新橋 都心 空港



## 01 歴史的・都市的通過点である新橋

### 01-1 鉄道の出発地である旧新橋停留所



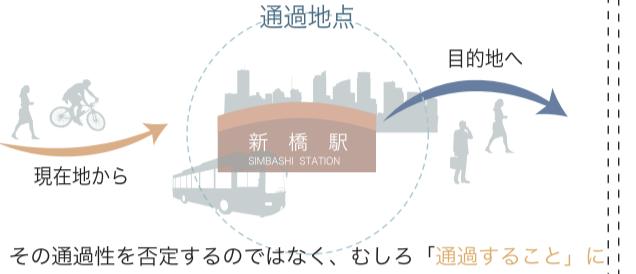
1870 年(明治 3 年)、新橋～横浜間で日本最初の鉄道建設が計画された。「日本の鉄道の発祥の地」としてその地に鉄道起終点の陸橋が建つ。新橋は歴史的にも現代的にも「起点／終点の間にあらゆる場」であり続けてきた。

### 01-2 現代の複合交通拠点



数多くのモビリティが行き交う新橋は、ここを目的地として防れるよりも、目的地までの通過点として利用する機会が多い。

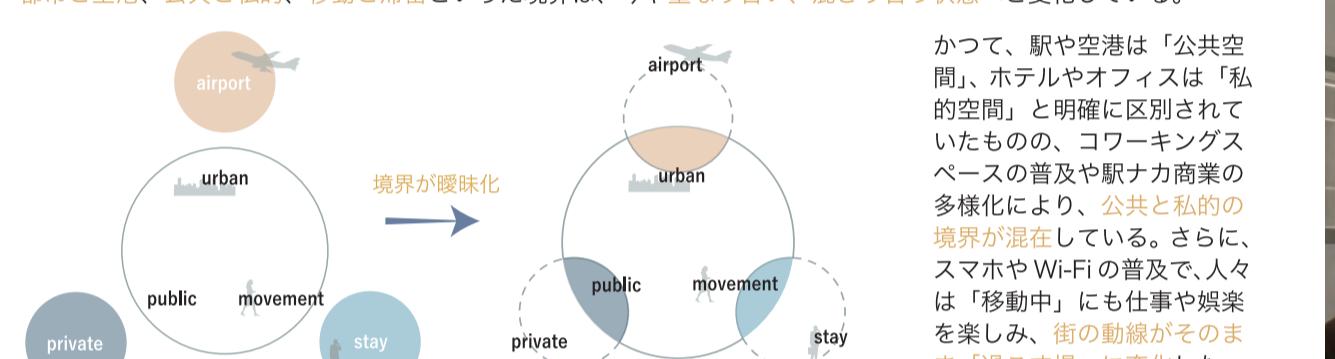
### 01-3 都市の中の通過点としての新橋



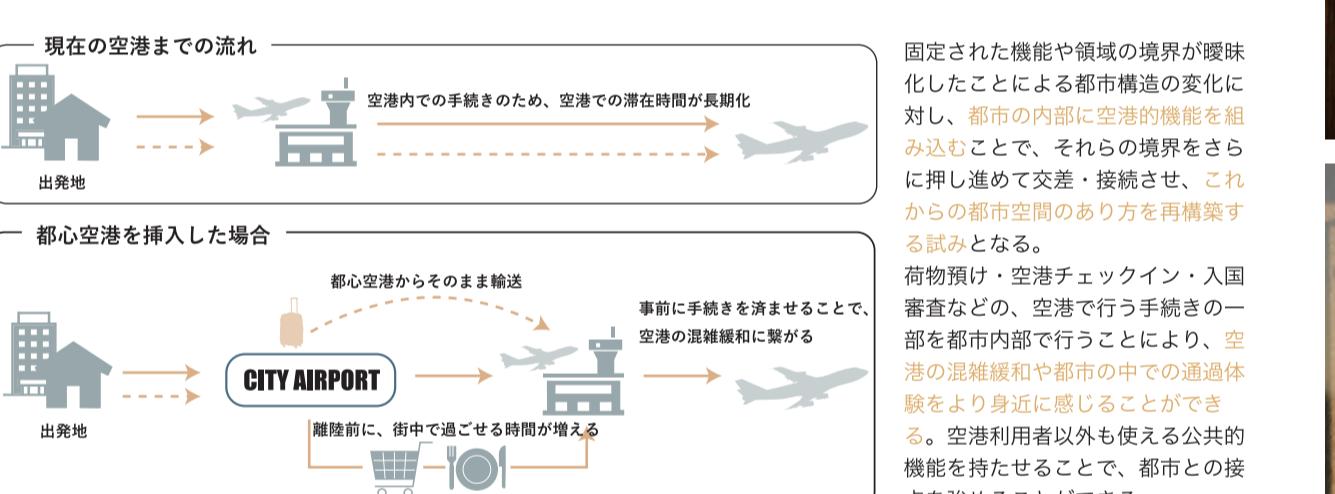
その通過性を否認するのではなく、むしろ「通過すること」に着目や意味を見出していく。

## 02 構造が曖昧になる都市構造

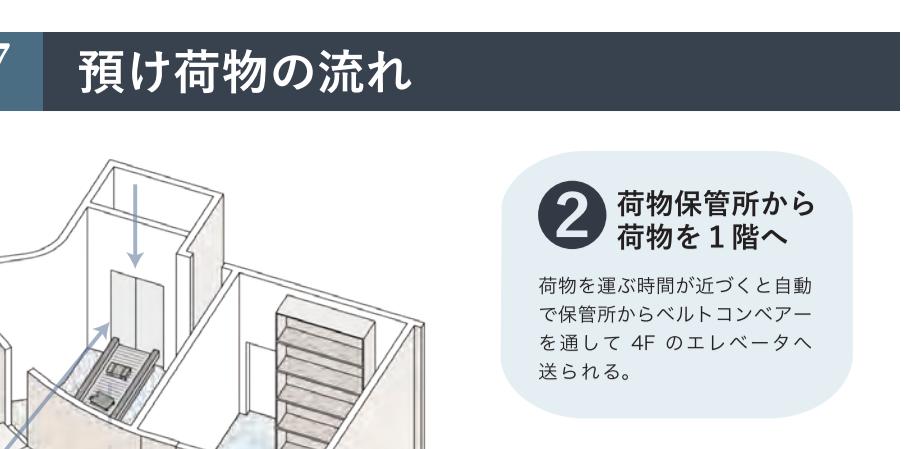
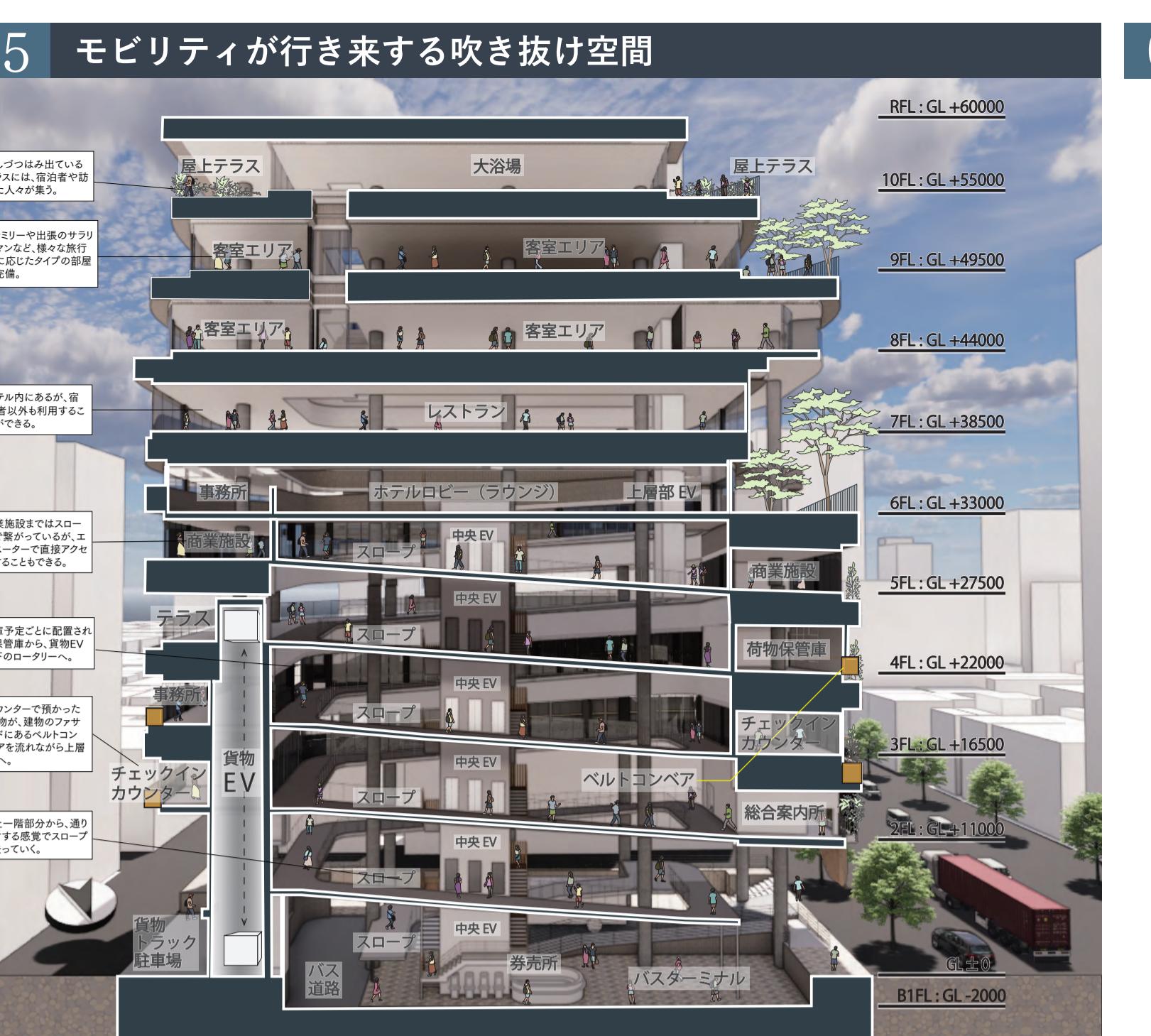
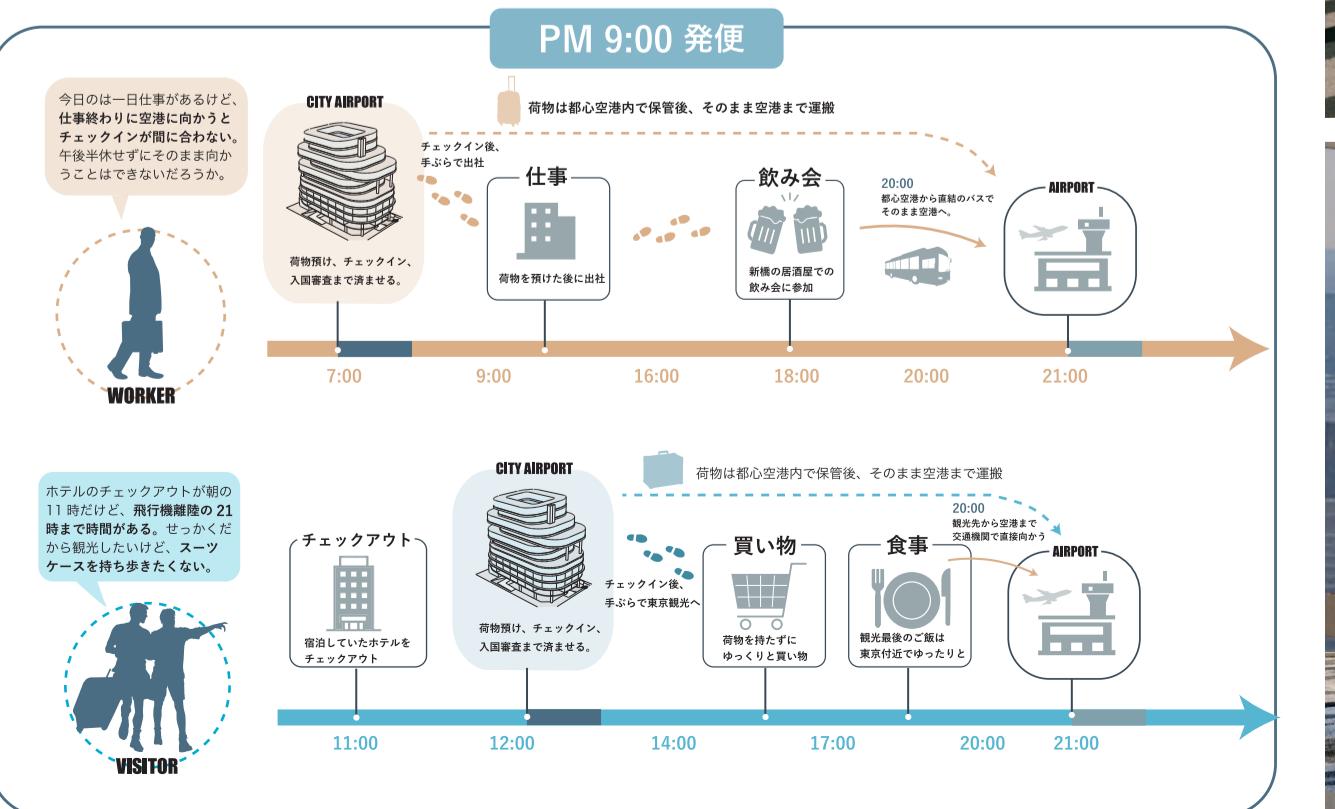
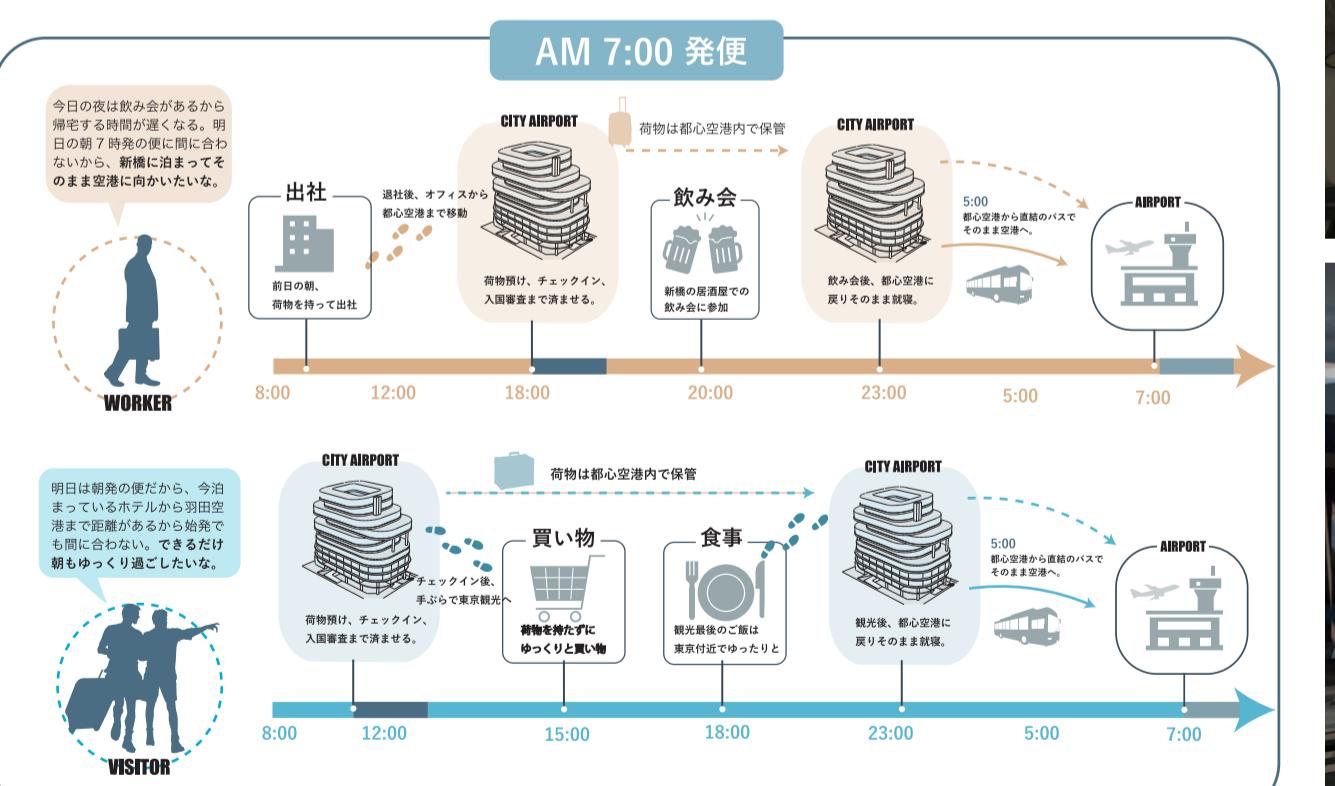
かつて、都市の中には明確な機能や領域の境界が存在していた。しかし現代では、その境界が曖昧になりつつある。都市と空港は「公共と私的、移動と滞留」といった境界は、今や重なり合い、混ざり合う状態へと変化している。



## 03 都市空間の再構築



## 04 都市空港を利用する人の1日



2 荷物保管所から  
荷物を1階へ

荷物を運ぶ時間が近くと自動で保管所からベルトコンベアへ送られる。

